

★延期後の日程が確定しました★

裁判例で学ぶ商標管理の実践的ノウハウ

～商標法の個別の条文からは気づかないリスク、対策、ノウハウを、
 商品企画、権利取得過程・取得後に分けて明解に解説～

難易度
中級



2022.2.17(木)、18(金) いずれも13:30～16:30

講師：青木 博通 氏

ユアサハラ法律特許事務所
 パートナー・弁理士



LIVE



ライブ配信だからその場で講師に質問可能 &

アーカイブ配信も実施（各講義翌日から1週間）

・聞き逃しても安心！期間内はなんども、再生速度を変更可能！



◆商標法の個別の条文からは気づかないリスク、対策、ノウハウを、商品企画、権利取得過程・取得後に分けて、裁判例も踏まえて具体的に解説します。トラブルになりやすい「やっかいな商標」も紹介します。

◆欧米では、製品の知的財産保護だけでなく、会社→顧客→アフターケアまでの顧客とのタッチポイントを、商標法、意匠法、不正競争防止法、著作権法を利用（知財ミックス）して守るブランド・マネジメントが一般的です。この手法についても、講義の後半に解説致します。

◆良かれと思ってやったことが、実は、ブランド・マネジメントとしてマイナスになることがあります。講義の最後にまとめとして、ブランド・マネジメントとしてやってはいけない10か条について解説します。

【解説内容】

I 最近の商標を巡る裁判の動き

II 商品企画・開発段階

1. ネガティブチェック
2. 商標調査のポイント
3. 商標の選択（どんな商標を選択すべきか）

III 権利取得過程

1. 商標の識別性
2. 商標の類似と「取引の実情」（特許庁と裁判所の違い）
3. 新しい商品・役務（どの商品等をおさえるか）
4. 商品・役務の類似（特許庁と裁判所の違い）
5. 会社名を商標として登録する（商号商標の登録可能性）
6. 「半沢直樹」は登録できるか？
7. 一般条項「公序良俗違反」の射程範囲（キャラクター、小説のタイトル）
8. 証拠としてのアンケート調査・証明書（費用と有効性）
9. 包装禁反言（File wrapper estoppel）
10. 条文にない拒絶理由（3条趣旨拒絶）
11. 同一人のレポート出願禁止に関する日本・世界の動向
12. 新しいタイプの商標と拒絶対応

13. トラブルになりやすい「やっかいな商標」

14. 権利者の使い分け（分類別、商標と意匠）

IV 権利取得後

1. 商標の普通名称化・稀釈化→財産的価値ゼロへ
2. 商標ライセンスをめぐるトラブルの種類
3. 不使用取消審判への対応（2つの裁判例の流れ）
4. ブランド使用マニュアル

V 商標権侵害・不正競争防止法事件への対応

1. 商標の類似（審決取消と侵害事件の違い）
2. ドメイン名・商号の使用と商標権侵害
3. 「購入後の混同」理論、販促品と商標権侵害
4. 商標権侵害否定の法理
 -商標機能論、商標的使用、商標法26条との関係
5. 登録商標の存在が抗弁にならない場合
6. 和解と商標の変更をめぐる問題
7. 警告状送付と信用毀損

VI M&Aと商標（デューデリジェンス）

VII 知財ミックスを利用したブランド・マネジメント

VIII まとめ（やってはいけない10か条）

◆受講料： 会員17,500円・一般20,000円（※税込）

◆申 込： http://www.jiii.or.jp/kenshu/chizaikenshu_tanki.html

◆お問合せ先：（一社）発明推進協会 研修 TEL 03 3502 5439



お申込みページQRコード